この冬読書に じっくり浸かる

八火図書館読書のすすめ

最近本を読んだのはいつですか。令和5年に文化庁が行った「国語に関する世論調査」では、約6割の人が「1カ月の間に1冊も本を読まない」、約7割の人が「読書量が減っている」と回答しています。宮原振興局に併設されている八火図書館でも、勉強や仕事に忙しい16歳～29歳までの利用者は特に少なく、最も利用者の多い7歳～12歳の利用者約10分の1の利用にとどまっています。日々を忙しく過ごす私たちにとって、読書というのはハードルの高い行為になっているのかもしれません。

リラックス効果、思考能力の向上など読書にはさまざまな効果があると言われています。寒い日々が続き家で過ごす時間が増える今、改めてじっくり読書時間を堪能しませんか。

時間を惜しんで 逆に損していませんか？

八火図書館 館長　三枝 卓也 さん

最近では、たくさんの本が電子書籍化され、利用者も増えています。気軽ですし、持ち運びも便利です。本を読むとデータに基づいて自動で新たな本がお薦めされることもあり、効率の良さも魅力です。ですが、関心のある情報に集約され、それがかえって自分の世界を狭めてしまう可能性もあります。効率が重視される風潮がありますが、時間を惜しんでいるように見えて、逆に損をしているということになっていないか考える必要があるのかもしれません。

その一方図書館では、自分で情報を得に行く必要があります。手間がかかるように思えますが、見えるところにいろいろな本があることで新しい発見がしやすくもあります。図書館は静かな整った環境を誰でも無料で利用することができます。そんな図書館で、新しい世界を自分の手で見つけ、じっくり読んでじっくり考える時間を持ってみるのはいかがでしょうか。

豊富な文庫本

気軽に読めるからと貸し出しが多い文庫本は、一般書の約2割を占めるほど充実。特に人気なのは時代小説。シリーズものを制覇してみては。

新刊が毎月続々

蔵書は約52,000冊。話題の本やシリーズものの続編など毎月の新刊も多数。リクエストにも積極的に応えるようにしているとのこと。

見えないところにも

古くなった本は閉架で保管されている。貸し出しはできるため、お目当ての本が見つからないときにはカウンターまで。古い本を無償で譲るリサイクルフェアも年2回開催。

読書に集中する

本を読む環境が整えらえた図書館。たくさんの席の中からお気に入りを見つけてじっくり読書する時間を持つのも贅沢。天気がいい日は、テラス席での読書も心地いい。

八火図書館 利用案内

開館日　平日 10時～18時・土日 10時～17時
木曜日は20時まで開館！ 仕事帰りにも立ち寄りやすい
休館日　毎週月曜日・祝日・年末年始
貸　出　図書5冊（14日間）・雑誌2冊（5日間）
※町内居住または通勤通学している人、八代市・芦北町に居住している人は無料で利用カードを発行します。（発行時は、免許証などで本人確認を行います。）